秋田県障がい者スポーツ指導者協議会
広報 チャレンジ！

令和５年３月末日　発行
秋田県障がい者スポーツ指導者協議会
〒 010-0922
秋田市旭北栄町１番５号
（秋田県障害者スポーツ協会内）
TEL 018-864-2750
FAX 018-874-9467
E-mail:shidousha@akita-sports.jp

東北ブロック研修会の様子

ごあいさつ

秋田県障がい者スポーツ指導者協議会
会長　米　山　　隆

令和４年度も残すところわずかになりましたが、会員並びに関係者の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年度も多くの皆様のご協力を頂きながら事業をおこなうことができましたことに感謝申し上げます。

さて、当協議会では会員の交流を図り、資質の向上と会員相互の理解を深めるとともに障がい者スポーツの普及・振興に寄与することを目的に活動してきました。

しかし、ここ数年コロナ感染症の拡大によりまして、様々なイベントや教室等の活動が中止や延期などにより指導員の派遣要請や私どもの活動も自粛してまいりました。障がい者スポーツを楽しみにしております方々は勿論ですが会員の皆様も大変残念に思っていることと思います。ここにきてコロナ感染症の感染者数も減少傾向にあり、少しずつ感染対策をしながら日常生活やそれぞれの活動が再開されてきております。

このような中において、東北ブロック主催のブロック研修会を秋田市で開催することができました。コロナ禍でしたので参加定員を40名と限定し、換気や間隔をあけるなどの感染対策をしながらでしたが盛会裏に終えることができました。参加されました皆様にもご協力に感謝いたします。

ところで、日本パラスポーツ協会の名称変更に伴いまして、令和５年４月１日より私どもが有している資格の名称が変更となります。公認 初級・中級・上級スポーツ指導員等の名称が公認 初級・中級・

上級パラスポーツ指導員等になります。当分の間は混在すると思いますが周知に努めていきたいと思います。

東北ブロック障がい者スポーツ連絡協議会からのお知らせですが、令和５年度の（公財）日本パラスポーツ協会主催の第18回公認パラスポーツ指導者全国研修会が東北ブロックが担当して開催されます。これは全国８ブロックが持ち回りで開催しており昨年の12月には北信越（福井市）で行われました。この研修会は東北管内の指導者は勿論、全国26,000名の公認パラスポーツ指導者を対象に資質の向上を図るために開催するものであります。令和５年度は12月９日～ 10日の二日間、仙台市の東北工業大学のキャンパスで行うことになっております。現在実行委員会を立ち上げまして東北管内は勿論、全国各地から多くの方が参加していただくために準備をしているところであります。県内の指導者の皆様に是非研修会に参加され指導員として研鑽を積んでいただきたいと思います。詳細についてはパラ協会からの「NO Limit」に掲載予定です。

最後になりますが、県指導者協議会も今年度で設立20年を迎えました。式典等は諸般の事情により見送りましたが、今後も身近な地域で日常的にスポーツを楽しむ障がい者スポーツの支援、普及に更に力を注ぐことを大切にし、多くの皆さんのご協力やご支援を頂き活動していきたいと思っております。

指導員としての思い出

障がい者スポーツ指導員　監事　**黒　澤　英　章**（北秋田市）

私は、平成13年に指導員資格を取得しました。私の記憶では、昭和53･54年ごろに、第１回スペシャルオリンピック大会が、八橋陸上競技場で行われたと思っております。その頃私は、秋田県立比内養護学校に勤務しており、第１回大会、第２回大会と、児童･生徒を監督として引率していきました。その大会が、平成15年、第1回秋田県障害者スポーツ大会へと移行したときには、言いようにない嬉しさを感じました。平成15年３月、日本職業スキー教師協会主催の障害者スキー講習会に参加し、アウトリガー使用時の滑走実技、片足スキー、バイスキー・モノスキー実技の指導を受けました。バイスキー・モノスキーで、転倒時に立ち上がるのに非常に苦労しました。

平成21年までは、平穏無事でしたが、22年からは、研修会、講習会、スポーツ教室の手伝い等、色々案内が来るようになり、指導員らしい活動ができるようになりました。第43回東北ろうあ者体育大会、秋田県障害者スポーツ大会、全国身体障害者スキー大会などお手伝いさせていただきました。中でも平成19年10月の第７回全国障害者スポーツ大会（13日～ 15日）が印象に残っています。この三日間、県営陸上競技場にて、監察員として、選手の旁らの一挙手一投足を悉に拝見させていただき、大変勉強になりました。この経験を基に、その後の手伝いの時に生かしてきたつもりでおります。また、身体障害者スキーをなさっている方の明るさにも非常に助けられました。障がいのある方の協力のお陰で、ここまで活動を続けることができたと感謝するとともに、厚く御礼申し上げます。

◆◆◆◆◆特別功労賞受賞◆◆◆◆◆

令和４年度秋田県障害者スポーツ賞受賞「特別功労賞」を　監事　黒澤　英章　氏　が受賞されます。心からお祝い申し上げます。

東北ブロック障がい者スポーツ指導者研修会に参加して

障がい者スポーツ指導員　会員　**高　橋　美喜子**（由利本荘市）

去る１月22日(日)秋田市の遊学舎に於いての研修に、久しぶりに参加しました。コロナ禍のため参加者が県内のみ（仙台市からブロック幹事長参加）で、少し残念な気持ちでしたが、研修会を開催してくださっただけでも、役員の方には感謝申し上げます。

基調講演は笹川スポーツ財団の小淵和也氏から「地域における障がい者のスポーツ環境～東京2020パラリンピックを経て～」のテーマで近年の障がい者スポーツ施策の中から、現在の第３期スポーツ基本計画について詳しく話を伺うことができました。その中で、障がいの種類、障がいの程度は多種多様である。そのためには、目的に応じた指導、支援、協力が不可欠であり、障がい者のスポーツ指導に関わる人材も多種多様であるべきとの内容に、もう一度自分自身を顧みるきっかけになりました。

第２部の講演は、「パラスポーツの可能性～ブラインドスポーツを通じて～」と題して宮城県障害者スポーツ協会の斎藤友規氏の話を伺いました。視覚障がい者のサッカーには全盲のブラインドサッカーと弱視のロービジョンフットサルがあるとのこと。この日初めて知ることもあり、その内容から大切に思う心・お互いを認めあることが根底にあるということを今更ながら気づかせていただきました。また、ちょっとしたクイズにも認知度の低さに反省させられました。

今回の研修では、自分自身の障がい者スポーツ指導員としての至らない部分を見つめ直す内容だったと思います。今後もできるだけ研修会等に参加し、レベルアップにつなげていきたいと思います。

今度は、マスクなしで皆様にお会いしたいですね。

会長あいさつ

受付の様子

「全スポ支援員として再認識」

障がい者スポーツ指導員　会員　**佐　藤　清　俊**（湯沢市）

台風による第19回茨城大会、新型コロナウイルスによる第20回鹿児島大会、第21回三重大会の中止を経て、四年ぶりにパラスポーツの国内最大の大会である第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」が開催されました。

サウンド･テーブル･テニス（ＳＴＴ）の沼倉選手が、第一回目の強化練習会に入ろうとしている矢先に、担当支援員に欠員が生じたそうです。以前第16回岩手大会で沼倉選手の支援員を担当させていただいたこともあってか、急遽沼倉選手の支援員をさせていただくことになりました。

県障害者総合福祉センターで全６回（初回はコロナの影響で中止）の強化練習会と、自主練習として自宅から車で50分ほど離れたＳＴＴ横手クラブの定期練習会へ毎週参加。多くの方々と練習を重ねました。お陰様で高いモチベーションを保った状態で、５泊６日の日程で卓球会場となるＴＫＣいちごアリーナ(鹿沼総合体育館)へ出発しました。世界遺産「日光東照宮」に程近い「ナチュラルガーデン日光」という洒落た欧風調宿舎は部屋風呂の他、大浴場や露天風呂もあり快適な宿舎でした。

試合の結果は見事金メダルに輝きました。

以前弱視だった頃、陸上競技の代表選手として同大会へ出場経験がある沼倉選手。現在全盲というハンディを抱え、今できるスポーツ（ＳＴＴ）に勤しみ、日々の生活を謳歌しています。

スポーツは誰もが「する」「みる」「ささえる」というスポーツの価値を享受し、老若男女、障がいの有無にかかわらず、様々な立場･状況の人が「ともに」スポーツを楽しみ、スポーツを軸とした共生社会を築いていることの重要性を再認識しました。全国から集結した様々な障がいをもつ選手。支える監督やコーチ、ボランティアの方々に接する機会に恵まれたことに感謝いたしております。

沼倉選手と開催会場にて

令和4年度初級障がい者スポーツ指導員養成講習を修了され障がい者スポーツ指導員として認定を受けた中から14名が当協議会に入会して頂きました。有難うございました。

今後の自分の希望や方針

障がい者スポーツ指導員　会員　**藤　原　岳　如**（湯沢市）

私は令和４年11月の研修に参加させていただき、初級障がい者スポーツ指導員の資格を取得しました。それまでは湯沢市のスポーツ推進員としての活動、地域のスポーツ少年団(野球)のスポートコーチという立場、自身の趣味のランニングやバレーボール等、様々な形でスポーツと関わりを持ってきました。しかし、振り返ってみると、障がい者の方々とのスポーツを通じた交流はほとんど経験がありませんでした。

この度、スポーツ推進委員活動の延長のような感覚で研修に参加しましたが、他の参加者の方々の意識の高さにショックを受けました。

研修参加の動機をお伺いすると、「障がいのある家族にスポーツを楽しんでもらうため。」や「同じ職場の障害者雇用の仲間のことを少しでも理解するため。」等で、「なんとなく。」で参加した自分が恥ずかしくなる程でした。

講義では、障がいの種類、分類や援助の際の注意点等を学びました。個人的に一番心に残ったのは、「相手に対して障がいのことを聞くのはタブーではない。」「積極的にコミュニケーションをとり、援助してほしいこと、ほしくないことを教えてもらうようにする。」という講義でした。

実技研修では、障がいのある方々を講師にお迎えし、実際に「ボッチャ」や「卓球バレー」を一緒にプレーし、指導を受けました。講師の方々は様々な障がいをお持ちでしたが、そのことに真正面から向き合い、創意工夫をしてスポーツを楽しみ、そして真剣に勝負している姿に感銘を受けました。

今後は、障がい者スポーツ指導員という資格取得者として、障がい者の方々がスポーツをする際の手助けはもちろんのこと、新たに障がいのある方とスポーツを繋ぐ橋渡し役になることができるように、微力ながら活動していきたいと思います。

令和４年度東北ブロック障がい者スポーツ指導者研修会（兼）秋田県障がい者スポーツ指導者協議会研修会を開催しました

秋田県障がい者スポーツ指導者協議会　副会長　**佐　藤　茂　仁**（秋田市）

秋田県障がい者スポーツ指導者協議会では、毎年実技研修会を開催しておりますが、今年度の研修会は東北ブロック障がい者スポーツ連絡協議会が主催の「東北ブロック障がい者スポーツ指導者研修会」を兼ね、１月22日（日）秋田市の秋田県ゆとり生活創造センター「遊学舎」を会場に開催しました。

研修の目的は、東北地区で活動する障がい者スポーツ指導者が、研修において知識や技術などの様々な情報を得ることにより、地域での活動や指導に伴う不安を解消し、今後の活動に対する意欲を高めるとともに、指導者の資質向上につなげることを目的とするもので、宮城県及び県内の指導者39名が集い行いました。

午前中の基調講演は、公益財団法人笹川スポーツ財団の小淵和也先生に、「地域における障害者のスポーツ環境～東京2020パラリンピックを経て～」というテーマで講演していただきました。東京パラリンピックの開催を契機に地域おける障害児者のスポーツ環境がどういうふうに変わったのか、今後どう変わっていくのかについて、小淵先生の調査や、「第３期スポーツ基本計画」における障害者スポーツの政策目標などの行政の施策の現状を踏まえて詳しくお話していただきました。

午後からは、「パラスポーツの可能性～ブラインドスポーツを通じて」というテーマでロービジョンフットサル日本代表監督として４度の国際大会を経験した、宮城県障害者スポーツ協会職員の齋藤友規さんに講演していただきました。ブラインドスポーツの指導での体験をもとに、パラスポーツが障がい者のみならず健常者にももたらす効果や可能性について丁寧にお話していただきました。

久しぶりの対面での研修であったため、休憩時間には会員同士の親睦を深める光景も見られました。また、二人の講師からは、パラリンピックがパラスポーツや地域におけるスポーツにもたらす効果について知る良い機会となり、有意義な研修会となりました。

事務局から

事務局長　佐　藤　涼　子

今年度を振り返ってみますと、新型コロナウイルス感染拡大は止まることなく猛威を振るい、当県でも二千人を超えた日もありました。この様な状況の中ではありましたが、感染者数が少し減少した５月に理事会を開催出来ました。６月にはコロナの影響により２年間は書面による総会としておりましたが、３年目で感染予防に徹し対面で開催出来ました。

令和４年度東北ブロック障がい者スポーツ指導者研修会を当協議会が主管とし、令和５年１月22日、40名の参加のもと開催しました。コロナ感染拡大前は東北ブロックの指導員が各県から集い開催されておりましたが、コロナの影響もあり、この度は当県の指導員による研修会となりました。

今年度は当協議会が設立20周年を迎えることが出来ました。会員や多くの皆様の支援ご協力のお陰と事務局から心より感謝申し上げます。大きな節目を迎えた今新たなステップへと、会員の皆様と共に資質の向上や指導員としての果たす役割などについて今一度考え、より良い方向について構築し、スキルアップを図りながら、障がい者スポーツの普及発展のために努力を重ねて参りたいと思っております。今後も皆さまのご支援とご協力をお願い申し上げます。

年会費納入のお願いについて

当協議会の年会費納入にご協力頂きありがとうございます。

令和５年度年会費は出来るだけ６月30日まで下記の振り込み先まで納入頂きますようお願い致します。

総会時に納入可能です。

会費は会の運営に関わる費用として使用されるものです。当協議会の総会のご案内及び派遣依頼、自主活動については、当協議会の会員とさせて頂いております。

納入先

ゆうちょ銀行　口座番号　０２２１０－７－９４３９０
秋田県障害者スポーツ指導者協議会

年会費 1,000円

編集後記

広報誌　チャレンジの発行にあたりご寄稿頂いた皆様には心よりお礼申し上げます。

今年度はコロナ禍の中でしたがウイズコロナを受け、感染予防対策に徹し対面による総会、東北ブロック研修会等自主事業は開催出来ました。

新年度も新型コロナウイルス感染症にはお互い常に注意しながら、活動して頂き、活動体験や情報の提供等ご寄稿頂きますようお待ちしております。